

## 第 7 4 4 回むつ市教育委員会 会議録

1	開会及び閉会に関する事項	令和4年9月29日（金） 13:00 ～ 13:50 むつ市本庁舎 第4会議室
2	出席委員及び欠席委員の氏名	【出席】 教 育 長 阿 部 謙 一 委 員 田 中 志 昌 委 員 納 谷 順 子 委 員 黒 木 和 之 委 員 長 岡 俊 成
3	説明のために出席した者の職及び氏名	教育部長 伊藤 大治郎（途中入室） 政策推進監 鷲岳 彰丸 総務課長 工藤 大介 副理事学校教育課長 祐川 達也 副理事図書館長 櫻井 忍 生涯学習課長 畑山 勝 中央公民館長 木村 善弘 川内公民館長 金浜 達也 大畑公民館長 二本柳 茂 脇野沢公民館長 山崎 拓也 学校教育課総括主幹 佐藤 充 【事務局】 総務課主幹 新田 剛 総務課主任 関 元徳
4	委員又は教育長等の報告	なし
5	議題及び議事に関する事項	<p>教育長            それでは、ただいまから第744回むつ市教育委員会を開会いたします。会議録の署名についてですが、今回は長岡委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。</p> <p>                    本日は、報告が5件となっております。それでは、早速議事に入りたいと思います。</p> <p>●事務局からの報告事項</p> <p>1. 「第253回むつ市議会定例会報告」（総務課）</p> <p>教育長            まずは、報告第1号  むつ市議会第253回定例会報告について事務局から説明をお願いします。</p> <p>総務課長            (資料説明)</p> <p>教育長            ただいま事務局から説明がございましたけれども、この件につきまして委員の</p>

	皆様からご意見、ご質問等ありましたらよろしく申し上げます。
長岡委員	<p>来さい館で縄文関係の展示、講演があったと聞き及んでいます。岡崎議員の質問の趣旨に関連する部分もありますが、市には常設の郷土資料館等がないため、来さい館での取組みは非常に貴重な機会であると感じます。</p> <p>このような事業が実施される際には、小中学校の児童生徒を教員が引率していく等、子ども達が郷土資料等に触れる機会を作っていただきたいと考えています。</p>
教育長	<p>その他、委員の皆様から何かございませんか。</p> <p>(なし。)</p>
教育長	<p>それでは、本件については以上といたします。</p>
	<p><b>2. 「天然記念物下北半島のサルおよびサル生息北限地の現状変更（捕獲）許可について」（生涯学習課）</b></p>
教育長	<p>次に、天然記念物下北半島のサルおよびサル生息北限地の現状変更（捕獲）許可について事務局から説明をお願いします。</p>
生涯学習課長	<p>(資料説明)</p>
教育長	<p>ただいま事務局から説明がございましたけれども、この件につきまして委員の皆様からご意見、ご質問等ありましたらよろしく申し上げます。</p> <p>(なし。)</p>
教育長	<p>それでは、本件については以上といたします。</p>
	<p><b>3. 「天然記念物下北半島のサルおよびサル生息北限地の現状変更（捕獲）の終了報告について」（生涯学習課）</b></p>
教育長	<p>次に、天然記念物下北半島のサルおよびサル生息北限地の現状変更（捕獲）の終了報告について事務局から説明をお願いします。</p>
生涯学習課長	<p>(資料説明)</p>
教育長	<p>ただいま事務局から説明がございましたけれども、この件につきまして委員の皆様からご意見、ご質問等ありましたらよろしく申し上げます。</p>

田中委員	<p>捕獲目標に対する実績値の乖離が激しいと感じています。現状増え続けていることに対して対応等はあるのでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>鳥獣管理計画に関しては、鳥獣対策担当課で対応をしており、捕獲した個体に関しては、教育委員会の生涯学習課が担当となります。</p> <p>全体個体数とは増加している状況にあるとのことです。電子機器等を活用し、対応を実施しているところではありますが、大量捕獲には至っていないとのことです。</p>
教育長	<p>その他、委員の皆様からご意見ございませんか。</p> <p>(なし)</p>
教育長	<p>それでは、本件については以上といたします。</p>
<p><b>4. 「令和4年度全国学力・学習状況調査結果報告」(学校教育課)</b></p>	
教育長	<p>次に、令和4年度全国学力・学習状況調査結果報告について事務局から説明をお願いします。</p>
学校教育課長	<p>(資料説明)</p>
教育長	<p>ただいま事務局から説明がございましたけれども、この件につきまして委員の皆様からご意見、ご質問等ありましたらよろしくをお願いします。</p>
黒木委員	<p>学力と相関関係があった質問事項という記載がありますが、これは全国の数値でしょうか。</p>
学校教育課長	<p>むつ市のみの数値となります。</p>
黒木委員	<p>予想でしかありませんが、コロナの影響はとても大きかったように感じます。都市部において公教育は、大きなウエイトを占めている訳ではありません。学校が休校になったとしても、学習塾等が充実しているからです。一方でローカルな地域においては公教育が占めるウエイトが非常に大きいといえます。</p> <p>不幸中の幸いは、現在ICTによる遠隔授業等が発達してきていることであり、これがなければ壊滅的な影響を受けていたと考えます。ICTとGIGAスクールを真剣に取り組まなければ都市部との学力格差はますます広がる一方であると考えています。</p> <p>質問ですが、なぜ当該テストの比較基準の一部が県平均なのでしょうか。今後青森県を出て行く子ども達なので、評価基準は全国平均とすべきではないでしょ</p>

	うか。
学校教育課長	全国平均との比較も実施しております。県平均と比較する理由としては、学力向上アクションプランを設定しておりますので、その中で、「県平均を3ポイント上回る」という目標設定をしているために、県平均との比較を実施しております。
納谷委員	本調査の内容を子どもから見せてもらった際に、自身の子どもが全国、全県のどの位置付けなのかが分かる書類がないのですが、子どものこれからの進学を考えた場合、資料の一つとして、提供してもらえないものでしょうか。
学校教育課長	<p>全国の調査、県の調査、いずれの場合におきましても順位を知ることは学校においても不可能であるため、お伝えすることは出来ません。</p> <p>我々の時代であれば、実力テスト等は県内何千人の受験者の内の何番目という資料が提供されていましたが、現在はそういった物の提供はありませんので、進路指導という観点で言えば、これまでの先輩達と比較してどの位置づけにいるのか、といった比較方法があるかと思えます。</p>
教育長	<p>その他、委員の皆様からご意見ございませんか。</p> <p>(なし)</p>
教育長	それでは、本件については以上といたします。
	<b>5. 「新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う対応について」(総務課)</b>
教育長	次に、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う対応について事務局から説明をお願いします。
総務課長	(資料説明)
教育長	<p>ただいま事務局から説明がございましたけれども、この件につきまして委員の皆様からご意見、ご質問等ありましたらよろしくをお願いします。</p> <p>(なし。)</p>
教育長	それでは、本件については以上といたします。
	<b>●その他</b>
教育長	その他、委員の皆様からご意見ございませんか。

黒木委員	<p>昨年度一年間にわたり、様々な講師をお招きして講演会を開き、総合教育会議を実施したかと思いますが、当該講演の中から当市において取り入れ、実施する施策等はあるのでしょうか。</p>
政策推進監	<p>各講師から様々な提案をしていただき、教育委員会事務局でどのように活用をしていくかと協議を進めてきましたが、教育大綱に記載して、学校にこのように取り組んでくださいとまでは言いにくい部分もあること、また、教職員も聴講に来ていたことから、学校の自主性に任せるという形で対応したいと思います。</p>
黒木委員	<p>それではだめだと思います。予算が無ければ学校現場においても対応が出来ないため、市が主導してやるべきだと考えます。</p>
学校教育課長	<p>学校で行う教育活動については、校長の責任の下で行う事になっていますので、まずは学校の方で考えていただくこととなります。</p> <p>しかしながら、委員がおっしゃったように予算の関係で出来ないといった事象が生じる場合もあります。そのため今年度から「高い志を育む学校への支援事業」を立ち上げました。これは、学校でやりたい事業を教育委員会へ提案してもらい、そこに予算をつけ、実施してもらおうという事業を始めております。</p>
黒木委員	<p>学校間において差が生じてもかまわないという考えでいいのでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>提案してきた学校に関して予算をつけている状況になっています。</p>
黒木委員	<p>厳しいことを言うようですが、その結果が先ほどの全国学力・学習状況調査結果報告なのです。何をやっているのだとしか言いようがありません。自主性を重んじているのであれば結果を出してもらわなければ困ります。ビジネスマンであれば結果がこのように数字に出ているのであれば言い訳できませんよ。</p> <p>結果を出してもいないのに自主性だとかを言う資格は無いと思います。なので、多少強引でも市が主導して明らかに統計有意的に良い結果をもたらすものであれば取り入れるべきだと考えます。結果が出なかったらその取組みを止めれば良いだけです。</p> <p>他の地方自治体で実施されていてむつ市で出来ない理由は無いと思います。</p>
教育長	<p>まずは整理をいたします。公教育ですので、全ての学校において等しく付けなければならない力がありますので、全ての学校に要求して、力を付けさせます。それは我々公教育に携わるものが、絶対に果たさなければならない義務です。これに関しては、一律一斉に全ての学校に行ってもらいます。その水準を保った上で、各学校がそれ以上にやりたいものがあるのであれば我々が制限を加えるものではありませんので、「高い志を育む学校への支援事業」を活用してもらい、様々な学校で独自性を持って取り組んでもらっています。そういう意味で、差が付く</p>

	<p>という部分に関しては、平均を超えて伸びていく部分に関しては止めることはありません。</p> <p>公教育ですので、むつ市としての目標達成のために学校に指示を出すことは当然にあります。なぜ、昨年度の講演会での提案が当市において実施されないかという理由につきましては、当市においては別の方法が学力を高める上においては適切であると判断したからです。例えば当市においてはタブレットドリルを小学校及び中学校に導入し、児童生徒に活用をしてもらっております。</p> <p>最後に、ご指摘いただいた部分で本当にそのとおりと感じたのは、現状は看過できる状況にはないと言うことです。小学校及び中学校に関して青森県平均に満たない状況である事は紛れもない事実です。このままであれば子ども達がちゃんとした力を持って学校を卒業できない事になってしまいますので、各課において様々な施策を通じて対応をしていく事になります。</p> <p>納谷委員のお話にも関係する部分ですが、テストには点数にばらつきが出るような選抜型と一定水準以上を合格とする検定型があります。全国学力テストは、まさに検定型にあたるため、順位付けには適さないものとなりますので順番が出ないということになります。</p>
黒木委員	<p>タブレットドリルは市内の小中学校に導入しているということでしょうか。</p>
教育長	<p>そのとおりです。来年度に関しては、各校の学力状況を分析し、細かな指示指導を実施する事で、弱点がある場合は弱点を克服できるように、力をさらに伸ばしたい場合は伸ばせるように様々なケースに応じて対応していきたいと考えています。</p>
納谷委員	<p>タブレットドリルの内容についてはどの学校においても同様なのでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>問題は同様ですが、単元の中に難易度別の課題があるため自身の習熟度に応じて課題を選択し、実施する事が可能です。</p>
納谷委員	<p>学校毎に当該タブレットのデータを集計して、習熟度等について確認することは可能なのですか。可能であれば、市内の同一教科の担当者が会議をした際にデータを持ち寄り会議の題材とすることも可能であると考えています。</p>
学校教育課長	<p>学校毎にデータを集約できますのでそのような対応は可能であると考えています。</p>
長岡委員	<p>総合教育会議に現場の先生の姿がとても少なかったのが気になりました。やはり日頃やらなければならない業務があり、また、新しい制度やものが学校現場に入ってくることでこれまで以上の負荷が掛かっているのだと思います。</p> <p>そういった中で、総合教育会議における講演会の内容についての総括が、教育</p>

	<p>委員会、総合教育会議の中で十分出来ていなかったと感じています。そのような状況であるため、我々としても学校現場に明確な指示等が出来ないでいます。それでは現場においても困惑してしまうと思います。</p> <p>先ほどの結果からも算数、数学、理科の部分に弱みが見えてきている部分がありますので、例えば下北地区で言えば自然科学分野にすぐ触れられる環境にあり、ジオパークもありますのでそれらを活用できるよう全体でコンセンサスをとっていかないと、黒木委員がおっしゃったようにローカル地区は厳しいものがあります。ジオパーク学習活動について現場の先生方にどれだけ浸透して、有用性を認めて、学習状況調査の課題を解決出来るのかどうかという部分について慎重に検討吟味する必要があると思います。今であればブラタモリにおいて下北地区が題材として放映されたばかりですので、機運が高まっていると思いますので是非対応していただきたいと思います。</p>
田中委員	<p>先ほどの話で、現在はテストにおける全県的な順位付けを行っていないということでした。塾に行っている子であれば、そこで順位が分かるとは思いますが、塾に行っていない子は永遠にそれが分からないということになります。</p> <p>私の認識からすれば、進学するつもりのある子は塾に行くというイメージがあるのですが、現状そうでもないようなので、学校において塾に行っている、行っていないというものは把握していないのでしょうか。</p> <p>そもそも、先ほどのテストの結果を塾に行っている子とそうではない子を同様に比べること自体に無理があるのではないのでしょうか。今と同様の測定の仕方をした場合全国平均、全県平均の差は永遠に埋まらないのではないかと考えています。</p>
黒木委員	<p>教育長が先ほどおっしゃったように本件はボトムを測る問題なので、仮に通塾しているかどうかといった形で場合分けをしたら、差はこの程度では済まないと思います。</p>
田中委員	<p>プライバシーの問題はあるとは思いますが、通塾している児童生徒については把握しておく必要はあるように感じています。</p>
黒木委員	<p>郷土愛という話があったと思いますが、神奈川県横浜市では市民が皆市民歌を歌えるとのこと。また、群馬県では上毛かるたというものが盛んに行われているとのことで、郷土愛を養うためには何かシンボリックなものを作るしかないと考えています。</p>
納谷委員	<p>下北地方においても下北かるたというものがあり、少し前までは大会も開かれていたように記憶しています。</p>
黒木委員	<p>そういうものがあるのであれば、市が主催をして、お金を出して実施するべき</p>

<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>総務課主任</p> <p>教育長</p>	<p>だと考えます。</p> <p>その他、委員の皆様からご意見ございませんか。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは、最後に事務局からお願いします。</p> <p>(事務連絡)</p> <p>それでは、以上で本会議は終了させていただきます。</p>
<p>6 議決事項</p>	
<p>7 その他会議 において必 要と認めた 事項</p>	
<p>8 会議録署名</p>	<p>上記の決議内容について明確にするため、むつ市教育委員会会議規則第24条の規定により署名する。</p> <p>令和4年10月27日</p> <p>教育委員会教育長 _____ 阿 部 謙 一 _____</p> <p>会議録署名委員 _____ 長 岡 俊 成 _____</p> <p>会議録作成者 総務課長 _____ 工 藤 大 介 _____</p>